

未来へつながる学びを支援する訪問 報告

国語 杉戸町立杉戸南中学校

実施日 指導案検討 令和7年8月25日(月)
授業研究会 令和7年10月22日(水)
訪問者 指導主事 赤塚 みゆき

指導案検討会

● 単元名

作者になりきり、

自分の考えを文章で表現しよう
「星の花が降るころに」(第1学年)

● 本時の目標

・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。

《思考力、判断力、表現力等》

《授業者の思い・意図》

- ・生徒に課題選択をさせ、部分的に自由進度学習で進めた!
- ・生徒が学習の進度を調整しながら進められるようにした!

→ゴールとなる言語活動を二つ設定し、ヒントカードを活用しながら自分で学習を進められるようにした。

■ 参会者の声

・自由進度学習をする上でのポイントや課題設定の方法、手立てや最終的なゴールなど、いろいろな学びの方法があることを知りました。

(指導案検討会:中学校教諭)

・夏の指導案検討会でも様々な意見を出し合ったので、今回さらに授業の変化や改善点が分かり、授業者の先生の思いも知ることができました。中学校の授業を参観する機会はなかなかないので、貴重な時間でした。

(授業研究会:小学校教諭)

授業デザイン改善のPOINT

■ 言語活動を行うための手段

選択制の課題となるため、それぞれの課題を解決できるような手立てを考えること

■ 指導事項の確認

何を身に付けさせるのかの再確認

■ 個別最適な学びと協働的な学び

目的に応じた全体、グループ、個別での学び

■ 自由進度学習の進め方

生徒に進度を委ねるための方策について

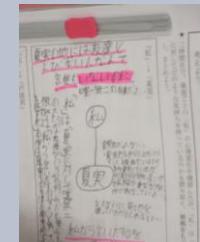
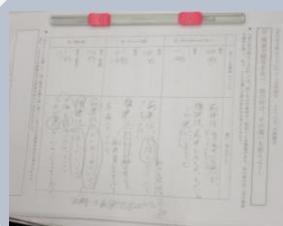
授業研究会

● 生徒の変容や今後の課題

◎それぞれの課題に対する手立て(プリント等)を用意することで、生徒が迷わずに進められた。

◎子供たちの学びの意欲や授業に向かう姿勢が変わった。課題を選択させたことで、一人一人が主体的に取り組み、他者と協働して学びを進めていこうとしていた。

▲自由進度学習を行うための環境整備だけでなく、生徒が自身の学びを調整できるための力を付けていく必要がある。



■ 授業者の声

・(指導案検討) 単元の目標達成に向けた手立て(課題)の質について、改めて考えることができました。多様な子供を取り残さないための学習形態の工夫を、検討会後に自身で考えられました。

・(授業研究会) 自由進度学習のポイントを学ぶことができました。今回の授業では、まだ自分自身の理解が浅かったため、何のために学ぶのか、どのような意図で選択するのかということも、生徒に考えさせていきたいです。

・(今後に向けて) 自分自身の授業づくりに対する考え方方が大きく変わりました。今後も生徒が主体的に取り組めるような授業づくりを行っていきたいです。